

DMD仕様v3.0.1のポイント (DMD仕様v3.0からの変更点)

データモデルとマッピングを個別に作成可能とすることで利便性を上げる
データモデルにサンプルデータを格納可能とし、実データイメージの理解を促進する

▶ マッピングファイル同梱を任意化

- ▶▶ 形式が多様な実データとデータモデルを紐付けるマッピング情報は分離されていたほうが、様々な観点から望ましい
- ▶▶ IMI語彙記法策定により、マッピングファイルを同梱する必要性がなくなった

▶ サンプルデータの同梱を強く推奨

- ▶▶ v3.0ではサンプルデータの同梱を可能としているだけで推奨強度までは言及していなかった
- ▶▶ サンプルデータの同梱を強く推奨することでデータモデル記述の理解を促進する

